

## 海外安全対策情報（2024年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

#### (1) テロ等の傾向

ア 昨年、パキスタンでは399件のテロが発生し3年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により2009年以降減少傾向にあったものの、2021年以降増加傾向にある。2021年に隣国アフガニスタンの首都カブールが陥落して以降、地域情勢は不安定化しパキスタンにも大きな影響が及んでいる。

イ 4月のテロ発生件数は34件であった。テロにより47名が死亡し32名が負傷した。テロで死亡した47名の内訳は治安機関員が15名、政府職員等が10名、民間人が21名、武装勢力が1名であった。

5月のテロ発生件数は36件であった。テロにより35名が死亡し57名が負傷した。死亡者の内訳は治安機関員が13名、政府職員等が3名、民間人が19名であった。

6月のテロ発生件数は27件であった。テロにより32名が死亡し、36名が負傷した。死亡者の内訳は治安機関員が23名、民間人が6名、武装勢力が3名であった。

テロ発生件数は前期（2024年1月～3月期）から32件減少（129件→97件）し、死者は93名減少（207名→114名）、負傷者は136名減少（261名→125名）した。

ウ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的と公言している勢力もある。

エ 都市部や地方の別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による徹底した取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在している。

#### (2) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

### (1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器の蔓延が問題となっている。

### (2) 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

### (3) 名誉殺人

当国では地方を中心に、親が認めない相手との交際などで、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が後を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっており、凄惨な殺害事件も発生している。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させるのが都市部でさえ一般的であり、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害も深刻な問題となっている。

### (4) 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多く、性犯罪は増加傾向にあると報じられている。同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できない。被害者の年齢及び性別は多様で特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も多く発生しており、誰もが被害者になる可能性がある。また、最近の報道によると、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警備員に寝室に押し入れられ、性的暴行を受けた事件が発生している。当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

(5) サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査局（F I A）サイバー犯罪部門は、SNSを通じた詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。F I Aでは、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

(6) プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題となっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等、不注意な行動は犯罪者に隙を与えるため、慎む必要がある。

(7) 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体を路上で放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

(8) その他

今期においても連日、不法な銃器・爆発物・薬物・酒類の押収事案が報じられた。これらの事案は、厳重な警戒下にあるイスラマバード市内においても、テロ発生の可能性は依然として排除できないことを示している。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人が対象となる誘拐事件は発生しなかった。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

邦人被害について、2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区ランディー・タウン、セクター20において、日本人複数名が乗車する車列

に対して襲撃される事件が発生し、日本人1名が負傷、攻撃に参加したテロリスト2名及び警備員1名が死亡、警備員1名及び通行人1名の計2名が負傷した。

外国人被害について、2020年12月15日、カラチ市南地区において中国人の車両に遠隔装置爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オートバイに乗車した2人の男が中国人車両に接触した後、逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

2021年4月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年7月14日には、KP州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフ達を乗せた中国会社のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人十数人が死亡し、数名が負傷した。

同年8月20日、バロチスタン州グワダルにおいてCPEC関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人9名が死亡、複数の負傷者が出た。

2022年4月26日午後、シンド州カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員3名を含む4人が死亡、2人が負傷した。

同年9月28日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人1名が射殺され、2人が負傷した。

2024年3月26日、KP州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフ達を乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人5名とパキスタン人1名が死亡しました。

また、2022年11月、TTPがパキスタン政府との停戦協定の破棄を宣言以降、テロの脅威がある。同年12月には首都イスラマバードで自爆テロが発生し、複数人が死傷しており、これに関してもTTPが声明を出した。

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が

期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続きを行うことが必要である。なお、手続きを行ったにもかかわらず、政府からの入域許可が得られない場合には、安全上の問題が生じる可能性があるため、当該地域への入域は控えることが望ましい。

## 5 2023年4月から2024年6月までのテロ発生状況

### 2023年

4月	32件、死者	77名、負傷者	43名
5月	41件、死者	95名、負傷者	73名
6月	33件、死者	53名、負傷者	38名
7月	29件、死者	127名、負傷者	173名
8月	59件、死者	81名、負傷者	75名
9月	46件、死者	160名、負傷者	193名
10月	27件、死者	30名、負傷者	29名
11月	27件、死者	59名、負傷者	73名
12月	23件、死者	57名、負傷者	54名

### 2024年

1月	46件、死者	88名、負傷者	106名
2月	63件、死者	70名、負傷者	108名
3月	20件、死者	49名、負傷者	47名
4月	34件、死者	47名、負傷者	32名
5月	36件、死者	35名、負傷者	57名
6月	27件、死者	32名、負傷者	36名

(出典：パキスタン平和研究所「P I P S」)

## 6 安全を考える上で参考となる事件等（報道ベース）

### 4月分

- 5日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡のコット・スルタン (Kot Sultan) とクラーチ (Kulachi) で行われた情報に基づく作戦 (IBO) で治安部隊と武装勢力の間で銃撃戦が発生し、武装勢力の戦闘員8名が殺害された。
- 5日夜、KP州ラッキー・マルワット郡でペシャワール＝カラチ高速道路に検問を設置していた警官3名が銃撃を受けて死亡した。
- 5日夜、Sra Darga 地区で帰宅途中の警官が銃撃され死亡した。
- 6日、KP州北ワジリスタン部族郡で治安部隊が武装勢力の戦闘員2名が殺害された。

- 6日、バロチスタン州パンジュゲール郡で行われた IBO で武装勢力の戦闘員 2 名が殺害された。
- 6日バジョール郡 Mamund で遠隔操作の IED の爆発により警官 1 名が死亡した。6 日夜、タンク郡 Mian Lal 警察署近くでテロ対策局 (CTD) の警官 1 名が殺害された。6 日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡の小麦畑で地雷の爆発により州兵 1 名が死亡した。
- 6 日夜、KP 州北ワジリスタン部族郡で、治安部隊と武装勢力の間で銃撃戦が起き、武装勢力の戦闘員 2 名が殺害され、武器と爆発物が回収された。
- 7日、KP 州カイバル郡及び北ワジリスタン部族郡で、ラシュカレ・イスラーム (Lashkar-e-Islam) の残党を排除する作戦が行われ、軍とテロリストの交戦により、テロリスト 3 名が殺害された。このうち、カイバル郡で殺害されたテロリストに、指名手配中の TTP 司令官 Hazrat Ali、通称 Gagga が含まれていた。
- 7日夜、バロチスタン州クズダル (Khuzdar) 市の商業地区 Umar Farook Chowk でバイクに仕掛けられた即席爆発装置 (IED) が爆発し、少なくとも 2 名が死亡、5 名が負傷した。
- 8日、バロチスタン州のチャマン国境で銃撃を受けた辺境警備 (FC) 隊 1 名が死亡、1 名が負傷した。
- 8日、KP 州ペシャワール市シェイク・ムハンマディで武装集団からの銃撃を受け副警部補 (Assistant Sub-Inspector) が殺害された。KP 州内ではここ数日警察に対する攻撃が多くの地域で発生している。
- 8日、バロチスタン州クエッタ郡 Kuchlak で祈祷中にあったモスクでの爆発により警官 1 名が死亡したほか、警官 3 名を含む 15 名が負傷した。ブグティ・バロチスタン州首席大臣は事件への包括的な調査を命じた。
- 9日、ISPR は KP 州南ワジリスタン部族郡において IBO により 2 名のテロリストを殺害した旨発表した。
- 13日、陸路でヨーロッパを目指すため、バロチスタン州タフタン行きのバスに乗車していたパンジャープ州出身のパキスタン人 9 名がバロチスタン解放軍 (BLA) により誘拐され、射殺された。同じ BLA による攻撃で、クエッタからノシキ郡間の高速道路 N-40 でも別の 2 名が殺害された。BLA は、両事件の犯行声明を出した。
- 13日、KP 州ハイバル部族郡ブナール (Buner) 郡において治安部隊と武装勢力との銃撃戦が発生し、治安部隊要員 2 名が殉職し、武装勢力の首謀者 1 名が死亡したと軍統合広報局 (ISPR) が伝えた。
- 17日、KP 州北ワジリスタン部族郡で、武装勢力戦闘員がアフガニスタンからパキスタンへの侵入を試みたところ、治安部隊に阻止され、少なくとも 7 名の戦闘員が死亡した。戦闘員から大量の武器及び銃弾が治安部隊により発見された。
- 17日、PPP の KP 州指導者 Syed Akhunzada Chattan が KP 州バジョール (Bajaur) 郡の道路を防弾車で走行中に路肩爆弾の爆発に巻き込まれたが、無傷で逃れた。

- 17日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で行われたIBOで待ち伏せ攻撃に遭い税関職員5名を含む7名が殺害された。ガンダプールKP州首席大臣は事件を強く非難し、遺憾の意を表明するとともに、犯人を逮捕し、処罰するよう警察に命じた。
- 20日、カラチ市ランディー地区マンセーラ・コロニー付近で日本人を狙った自爆テロが発生し、民間警備員1名が死亡した。車両にいた通勤中の5名の日本人は無傷であったが、通行人2名が負傷し、うち1名は重体。目撃者によれば、この攻撃には自爆テロ犯と警察により射殺された二人目の襲撃犯が関与している。
- 20日、タリバーン暫定政権のハイバトゥッラー最高指導者の側近で、かつ、同政権の指導者であるムッラー・マンスールの元ボディガードであるムハンマド・オマル・ジャン・アホンザーデ (Mohammad Omar Jan Akhundzada) が、パキスタン・アフガニスタンの国境付近で何者かにより暗殺された。ザビフッラー・ムジャヒド (Zabihullah Mujahid) アフガニスタン・タリバーン暫定政権報道官は、Xで地元当局に犯人に対して断固たる行動をとるよう促した。アクンダーザーはパキスタンの武装組織 ISKP に狙われていたと報じられている。
- 20日、KP州ティラ溪谷マイダン地区で即席起爆装置 (IED) の爆発により少年2名が死亡、1名が負傷した。IED 周辺の正確な状況については当局により捜査中である。
- 20日、KP州バンヌ・ロード付近で税関職員2名を含む少なくとも3名が攻撃を受け殺害された。デラ・イスマイル・カーン郡ではここ5日間で税関職員が2回の攻撃に遭っている。グラム・アリーKP州知事、オーラングゼーブ財相及びナクビ内相は攻撃を強く非難し、犠牲者の家族に追悼の意を表した。
- 21日、KP州Landi Kotalで武装勢力からの発砲により警官1名が殉職したほか、ティラ溪谷のBar Qambarkhel地区でTTP関連組織によって若者が処刑された。
- 23日、治安部隊はKP州及びバロチスタン州での過去48時間における3回の作戦で13名のテロリスト容疑者を殺害した旨主張した。ISPRのステートメントによれば、22日及び23日に、KP州デラ・イスマイル・カーン郡及び北ワジリスタン部族郡で遂行された2回のIBOで11名のテロリスト容疑者が殺害されたほか、バロチスタン州ピシン郡で2名の部族勢力戦闘員が殺害された。
- 23日、バロチスタン州Kohlu郡でPPPの州議会候補者ミール・ナシブッラー・マリ (Mir Nasibullah Marri) の選挙事務所がロケット弾攻撃を受け、1名が死亡した。
- 23日、KP州ペシャーワル市で警察官1名が何者かによって射殺された。また、同日、同州バッタグラム郡においても何者かの攻撃により警察官1名が射殺された。
- 22日及び23日、バロチスタン州ピシン郡で治安部隊はIBOによりテロリスト3名を殺害したほか、負傷したテロリスト1名を逮捕した。逮捕されたテロリストはアフガニスタン人であることが確認された。
- 23日、ムハンマド・アンワル・カーン (Muhammad Amwar Kham) KP州議会議員 (PTI所属) の自宅が何者かにより手榴弾で攻撃された。カーン議員は当時不在であり、犠牲

者は出なかった。

○ 24日、KP州からパンジャーブ州に侵入したテロリスト2名がCTDとの銃撃戦で死亡した。

○ 25日、ISPRは、24日及び25日に治安部隊がKP州ハイバル郡でのIBO遂行中に3名のテロリストを殺害し、武器と弾薬を回収した旨ステートメントで述べた。

○ 25日、KP州バンヌー郡でオートバイに乗った身元不明の者達によりFC隊員1名が射殺された。

○ 25日、KP州ラッキー・マルワット郡Darra Pezuで武装勢力がセメント工場を攻撃し、警備員1名を殺害、他の5名を人質に取ったほか、工場の車両に放火した。

○ 27日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡Garah Mohabaat Adda地区で、南ワジリスタン部族郡の地方裁判所判事(sessions judge)が身元不明の武装集団により誘拐された。同地方裁判所判事は政府及び司法に誘拐犯の要求を受け入れるよう訴えたところ、翌28日、同地方裁判所判事は救出された。

○ 27日、バロチスタン州ハルナイ地区で治安部隊との銃撃戦により、テロリスト1名が死亡、もう1名が負傷した。

○ 28日、アフガニスタンのクナール県でパキスタン・タリバーン運動(TTP)マラカンド支部の指揮官であるTalha Swatiが殺害された。同指揮官はISKPによって殺害されたとする報道もあれば、内輪もめにより対抗分派によって殺害されたという報道も見られる。

○ 28日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、治安部隊との銃撃戦により武装勢力戦闘員とされる2名が死亡した。

○ 28日、バロチスタン州ケチ地区で、武装したオートバイによりパンジャーブ州の労働者2名が射殺された。

○ 29日、KP州ハイバル部族郡での治安部隊によるIBOで首謀者2名を含むテロリスト4名が死亡したほか、テロリストの隠れ家も破壊され、大量の武器、弾薬、及び爆発物が回収された。また、28日～29日、同州タンク郡での治安部隊によるIBOでテロリスト4名が死亡したほか、武器と弾薬が回収された。また、同日、警察のCTDは、先月KP州シャングラ郡での中国人に対する攻撃に関与したTTP関係者を含む武装勢力容疑者4名を逮捕したと発表した。また、バロチスタン州Duki郡で即応部隊(QRF)に対する攻撃により辺境警備隊(FC)1名が殉職、3名が負傷した他、同州ZiaratのSanjavi Roadでの遭遇戦で武装勢力戦闘員1名が死亡した。

○ 29日、警察はKP州ラッキー市の駐屯地に対する武装勢力の攻撃を撃退した。この攻撃で警官は無傷であった。また29日、KP州バンヌー郡のMiryan地区での銃撃戦で、ポリオチームを護衛していた警察官を標的にしていたとされる殺人犯1名が死亡したほか、CTD部隊1名が負傷した。

○ 29日、CTDは先月KP州ベシャーム郡での中国人5名に対するテロ攻撃に関与した

TTP 所属の 4 名の主要工作員を逮捕したと主張した。

○ 29 日、ラワルピンディのマリー・ロードで容疑者 4 名との銃撃戦で、dolphin force の隊員 1 名が死亡、もう 1 名が負傷した他、通行人 1 名も負傷した。容疑者 4 名は高度な訓練を受けているとみられ、乗っていた車を残して逃走した。容疑者のうち 1 名は負傷したとされる。

○ 30 日、バロチスタン州 Khuzdar 市で、オートバイに乗った身元不明の者達から車両への手榴弾攻撃を受け、警察官 2 名が負傷した。

○ 30 日、KP 州バジョール部族郡 Mamund tehsil でポリオチームを護衛していた警察官 1 名が武装集団により殺害された。

## 5 月分

○ 1 日、15~20 名の武装組織がパンジャーブ州 Taunsa に位置する同州及び KP 州の州境の Jhangi 警察検問所に対してテロ攻撃を行ったところ、警察が阻止したが、これにより隊員 7 名が負傷した（うち 1 名は重体）。同検問所への襲撃は過去 15 か月で 3 度目となる。

○ パキスタン紛争・安全保障研究所（PICSS）による月刊治安報告書によれば、4 月は国内で武装勢力による攻撃が急増し、特に KP 州南部が被害となった。3 月に武装勢力による攻撃が 56 件発生し、77 名が死亡、67 名が負傷したことに対し、4 月は武装勢力による攻撃が少なくとも 77 件確認され、民間人 35 名及び治安部隊 31 名を含む 70 名が死亡した。これは、死者数は 9 % 減少したものの、武装勢力の攻撃件数が 38 % 増加したことを示している。尚、負傷者数に変化はない。

○ 2 日、先月 27 日に KP 州デラ・イスマイル・カーン郡 Garah Mohabaat Adda 地区で発生した地方判事誘拐事件に関与した 2 名の首謀犯を含む 3 名の武装勢力戦闘員が、タンク郡で治安部隊によって殺害された。

○ 2 日、警察及び法執行機関（LEAs）は、ラホール Taxali Gate 地区で警察官 1 名を殺した武装勢力戦闘員とされる人物を、迅速な行動で突き止め逮捕した。TTP の Khorasani グループが本事件の犯行声明を出していた。

○ 2 日、バロチスタン州北部 Duki 郡の炭田地帯で 2 回の即席起爆装置（IED）の爆発があり、1 名が死亡、2 名の同州 CTD 職員含む 20 名が負傷した。初期捜査の結果、両方の爆発は遠隔操作で行われたことが判明した。また同日、同州ピシン郡で武装攻撃により警察副本部長（DSP）1 名と警察署長（SHO）1 名が負傷した。

○ 3 日、バロチスタン州クズダール（Khuzdar）記者クラブ会長で JUI-F の同州副首長でもあった Siddiquallah Mengal が車両爆発により死亡した。金曜説教のためにクズダール工科大学（Khuzdar Engineering University）へ向かって

いた車のドアに、何人かのオートバイ乗りが磁石爆弾を取り付けられ、遠隔操作装置により爆発した。爆発により負傷した通行人9名のうち、2名が死亡した。

○ 3日、CTDは、KP州における今年の特ロ事件と作戦に関する報告書を発表した。報告書によると、今年179件の特ロ事件が報告され、91名のテロリストが警察との遭遇戦で死亡した他、ポリオチームに対する攻撃が10件報告された。特ロ事件については、1月に60件、2月に38件、3月に33件、4月に48件発生した他、テロリストに対するIBOが1002件実施された。

○ 4日、KP州北ワジリスタン部族郡で治安部隊が実施したIBOによりテロリスト6名が射殺され、隠れ家が破壊された。また同日、バロチスタン州CTDは、Quetta-Sibi Roadで警察車両に発砲したテロリスト4名を殺害した。

○ 4日、バロチスタン州各地で4名が死亡した。Dera Bugtiで2つの部族間の土地をめぐる武力衝突で2名が死亡した。クエッタのShalkot地区でパトロール隊に発砲した身元不明の武装集団のうち1名が警察との激しい銃撃戦で死亡した。Dera Murad JamaliのCNGステーションで車両のガスボンベが爆発し1名が死亡、4名が負傷した。

○ 4日、イスラム党(JI)の北ワジリスタン部族郡元支部長を務め、村の評議員でもあったRehmanullahがMiramshah tehsilのTapi地区で身元不明のオートバイ乗りが発砲され死亡した。

○ 4日、バロチスタン州のチャマン国境沿いで、FCとデモ隊が激しく衝突し、少なくとも1名が死亡、8名が負傷した。国境付近ではLaghriとして知られる日雇い労働者多数が、ビザ及びパスポートの義務化導入に反対して長期にわたり座り込みを続けていた。チャマン国境では政党、商人、Laghriがこの事件に対する抗議としてストライキを行った。

○ 5日、シンド州シカルプールで武装強盗団(ダコイト)による誘拐事件が2件発生し、2名が誘拐された。ポリオチームの責任者がAnwar Badani村への帰宅中に銃を突きつけられ誘拐された。また、Mehmoodabadの住人が誘拐された。また同日、サッカル警察はダコイトの交戦後、2名の人質を取り戻した。

○ 5日、KP州ラッキー・マルワット郡Darra Pezuで、自動小銃で武装した武装集団がShaheed Haibat Ali Khan警察署を攻撃したが、警察が素早く対応し撃退した。

○ 内務省からの指示により、ラウルピンディに居住する中国人やその他外国人観光客のための包括的な安全体制が施行された。特にCPEC等のプロジェクトに従事する中国人は地域内を移動する際の安全を確保するため、強固なセキュリティプロトコルを受けることになる。

○ 6日、KP州タング郡で身元不明の武装勢力からの攻撃により警察官1名が殉職した他、ハイバル部族郡で身元不明のオートバイ乗りからの銃撃により警官1名が負傷した。

○ 6日、シンド州Korangi警察は、Korangi工業地帯での情報に基づく急襲で、カラチ市内のテロ及び標的殺人に関与していた調査分析局（RAW）作業員2名の男性を逮捕し、手榴弾2個と弾丸付き9ミリ拳銃を回収した。翌日、反テロ法廷（ATC）は違法の武器及び爆発物の所持に関する事件で容疑者を3日間警察で拘留した。

○ 8日、KP州南部2郡で遂行された作戦で、治安部隊はテロリスト6名を殺害し、武器を回収した。デラ・イスマイル・カーン郡でテロリストがいるとの報告を受け、治安部隊は情報にIBOを遂行、テロリスト5名を殺害した。また、北ワジリスタン部族郡での銃撃戦で、治安部隊はテロリスト1名を殺害した。

○ 8日、KP州北ワジリスタン部族郡Tehsil Shewaで私立女子校が身元不明の武装勢力によって爆破された。この爆発による人命の被害はなかった。

○ 9日、バロチスタン州グワダルから東へ約25kmの沿岸部の町Sarbandanで、パンジャーブ州出身の労働者7名が殺害された。

○ コンピュータ・セキュリティ会社カスペルスキーのMDR（Managed Detection and Response）チームによる最新報告書によると、パキスタンにおけるスパイウェア攻撃は2024年第1四半期に驚異的な急増を見せ、昨年の同時期と比較して300%増加している他、人が直接関与するような深刻度の高い事件の発生頻度は昨年で1日あたり2件を超えた。

○ 11日、KP州北ワジリスタン部族郡Tehsil Datta KhelのHassan Khel地区で爆発物処理班を狙ったIEDが爆発し、直後に武装組織が治安部隊に発砲し、治安部隊5名が殉職、2名が負傷した。また同日、同部族郡Mir AliのSeeman地区で、武装勢力による警備基地への襲撃を受け、治安部隊2名が殉職した。

○ 12日、KP州Wanda Zareefal地区とShaikh Badin地区での警察と治安部隊による合同作戦でTTP戦闘員2名が死亡、3名が負傷した。

○ 11日、バロチスタン州ナシラバード郡のBari Shakh地区で、Hafiz Ali Ahmed Khaiazai JUP（Jamat-i-Ulema-i-Pakistan）同郡首長（General Secretary）が身元不明の武装した男性達により射殺された。

○ 12日、バロチスタン州クエッタのHazar Gangi地区で、FCの駐屯地付近でIEDが爆発し、治安部隊1名が殉職、2名が負傷した。

○ 12日、シンド州カンダコット（Kandhkot）で、Baho検問所が武装強盗団により襲撃され、警察官1名が拉致された。その後の追跡と遭遇戦で犯人1名が死亡、2名が負傷した。また、遭遇戦で少なくとも警官1名も負傷した。

- 12日、KP州ジャムルド (Jamrud) で、身元不明の武装集団からの襲撃を受け、警察官1名が死亡、同伴していた親族2名が負傷した。
- 12日、KP州Hazarkhwani村付近の環状道路で、警察の装甲兵員輸送車 (APC) を狙った路肩爆弾の爆発があったが、死傷者はなかった。
- 12日、パンジャーブ州ラホールで非武装の警察官を標的にした一連の襲撃事件の第一容疑者として逮捕されていたFeezan Buttを含む4名のテロリストが、Karolの密林地帯で、CTDとの銃撃戦により死亡した。
- 13日、KP州クラム部族郡Teri Mangal地区の検問所で、越境攻撃により治安部隊4名が負傷した。同地区はアフガニスタンのホースト県、パクティカ県、及びナンガルハール県と国境を接しており、攻撃後アフ・パク国境が閉鎖された。
- 14日、バロチスタン州ジョーブ郡で、IBO遂行中に陸軍将校1名が殉職、テロリスト3名が死亡した。
- 14日、KP州南ワジリスタン部族郡Wana-Kari Kot Roadで、身元不明の武装集団が発砲し、警察官1名を含む2名が負傷した。
- 14日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡で、身元不明の武装した男性3名が発砲し、ブグティ同州首席大臣の親しい友人を含む3名が死亡した。
- 15日、KP州ハイバル部族郡Landi Kotalの警察検問所にIEDが設置されていたが、警察職員が信管を外すことに成功した。
- 内務省は、2020年～2024年の国内における外国人へのテロ攻撃に関して、合計8件（うち7件が中国人、1件が日本人）発生し、治安部隊2名含む24名が殉職した旨発表した。シンド州では、中国人への攻撃3件と、日本人への攻撃1件が発生し、5名が死亡、7名が負傷した。KP州では、中国人へのテロ攻撃2件により、治安部隊2名を含む19名が殉教した。バロチスタン州では、中国人への攻撃が2件発生し、治安部隊3名が負傷した。
- 17日、アフ・パク国境での衝突がエスカレートし、夜通し双方の部隊による銃撃戦が繰り広げられたため、KP州クラム部族郡のカールラーチ国境付近の村や集落の住民が安全な場所へ避難した。
- 17日未明、KP州南ワジリスタン部族郡で、身元不明の武装集団が建設中の女子校を爆破した。犠牲者は出なかった。
- シンド州警察CTDと諜報機関のチームが、シンド州カラチ市Manghopir RoadのNaurus Chowrangi付近での作戦で、TTP司令官のYousuf Khan、別名Gul Yousufを逮捕した。
- 19日、KP州ペシャワール郊外にあるNasir Bagh警察署管轄内のJumma Khan Khwarh地区で、身元不明の者達が警察署に向かって手榴弾3発を投げつけた。投げ込まれた手榴弾のうち1発のみ爆発したが、人命の犠牲はなかった。

- 21日、バロチスタン州バンジュグル郡で、約20名の武装集団がPhalabad憲兵隊（Levies）検問所を襲撃し、憲兵隊員5名を人質に取り、公用の武器、携帯電話、車両及びオートバイを奪った後、憲兵隊員を部屋に閉じ込めて逃走した。
- アフガニスタン国を発生源とするテロが急増している中、22日、パキスタン軍は、4月21日以来から実施しているアフ・パク国境沿い及びバロチスタン州ジョーブ郡サンバザで実行された一連の作戦により、テロリスト29名を殺害した旨発表した。
- 21日、バロチスタン州のDuki炭田からパンジャーブ州へ向かう石炭を積んだトラック6台の車列が、バロチスタン州ZiaratのSanjavi地区で身元不明の武装集団からの銃撃を受け、運転手1名が死亡、もう1名が負傷した。
- 23日、シンド州KorangiのSSP（警視總監相当）は、警察と諜報機関がインドの対外諜報機関である調査分析局（RAW）の訓練を受けたとされる容疑者2名を逮捕し、手榴弾を含む武器を回収した旨主張した。
- 24日夜、KP州デラ・イスマイル・カーン郡で、身元不明のテロリストが、DarzandaからDeraへ移動していた旅客バスを妨害し、乗客に立ち退きを命じた後放火した。また乗客は、TTPに反対するような声明を発出したり、政府を支持したりしないよう脅された。乗客は無傷だったが、運転手はテロリストがバスをハイジャックしようとした際に激しい拷問を受けた。
- 26日、KP州ペシャワールから40km南のHassan Khel地区で遂行されたIBOで、治安部隊2名が殉職したほか、テロリスト5名が死亡、3名が負傷した。
- 26日、バロチスタン州Duki郡で、身元不明の襲撃者により憲兵隊員1名が射殺された。
- 26日、KP州北ワジリスタン部族郡で、2件の身元不明のオートバイ乗りによる標的攻撃でキリスト教徒1名を含む2名が殺害された。
- 26日、KP州ハイバル部族郡Bagh地区での交戦で、兵士5名が殉職したほか、テロリスト7名が死亡、2名が負傷したとISPRが発表した。また、関係者によると兵士6名も負傷したとみられる。また27日、KP州タンク郡で遂行された別の作戦で治安部隊はテロリストと交戦し、テロリスト10名を殺害した。
- 27日、KP州バジョール部族郡Mamund tehsilの道路脇に仕掛けられたIEDに車両が衝突し、男性1名が死亡、2名が負傷した。
- 27日夜、KP州北ワジリスタン部族郡Razmak tehsilで、身元不明のテロリスト数名が女子中学校に放火し、コンピューターや本等が全焼した。死傷者は出なかった。また、28日同州南ワジリスタン部族郡で警察官の車両を狙った遠隔作動爆弾攻撃が発生したが、警察官は無傷で逃れた。

- 28日にKP州北ワジリスタン部族郡で身元不明のテロリストが女子中学校を放火したことに続き、30日、バロチスタン州Surab郡でカラート（Kalat）県で、身元不明の武装集団が女子中学校への放火を試み、校舎の一部が焼失した。
- 29日、KP郡ペシャワール市Sarband地区で、武装した男達の襲撃により副警部補（ASI : Assistant Sub-Inspector）1名が殉職、通行人1名が負傷した。ペシャワールではここ数か月間で多数の警察官が標的型攻撃の犠牲となっている。
- 29日夜、KP州ラッキー・マルワット郡Kurrum Par地区で遂行されたIBOで、法執行機関職員がTTPのTeepoグループに所属する戦闘員2名を殺害した。また、30日未明、KP州モーマンド部族郡Halimzai tehsilで、自動小銃で武装した武装集団が手榴弾でSangar検問所を攻撃し、警察官が撃退したが、これにより警察官1名が負傷した。
- 30日、シンド州カラチ市のNotal地区付近で、クエッタ・サッカル間高速道路を走行中のNawabzada Khalid Khanバロチスタン民主党（BAP）党首（下院議員）の車両が武装集団からの発砲を受けたが、同党首は無事だった。
- 警察は非合法武装組織と麻薬密輸業者との密接なつながりを指摘している。警察関係者によると、TTPとラシュカレ・イスラーム（Lashkar-i-Islam）は、KP州ハイバル部族郡Jamrud地区のWazir Dhand市場及びShah Kas市場で麻薬密売人から活動資金をゆすり取っているほか、麻薬密輸業者の動きを監視するために検問所を設置した後、ティラー溪谷の一部で彼らに課税し始めたという。また、Wazir Dhand市場で違法麻薬取引を後援していた一部の警察官は、武装組織の恐喝リストにも載っており、不正に得たお金の分け前を要求する武装組織からの連絡を定期的に受けていたとされる。麻薬密輸業者及び密売人との繋がりの中で、警察官26名が解雇、さらに15～20名が捜査されている。
- 30日深夜、KP州ペシャワール郊外Hassan Khelで遂行されたIBOで、治安部隊はテロリスト2名を殺害、2名を負傷させた。また31日、同州バンヌー郡で、警備車両が道路脇に仕掛けられた爆弾に衝突し、軍人4名が殉職、3名が負傷した。
- KP州デラ・イスマイルル・カーン郡Hathala警察署管内で身元不明のテロリストが、治安部隊の車両に発砲した後、道路脇に仕掛けたIEDで車両を攻撃し、軍人2名が軽傷を負った。
- KP州北ワジリスタン部族郡のShewa tehsilで、身元不明の武装集団からの発砲を受け、警察官1名が殉職した。

## 6月分

- 3日、バロチスタン州チャマンで、ポリオ予防接種に従事する女性2名と警備員2名が、アフ・パク国境の閉鎖に抗議する集団から暴行を受けた。抗議者は、アフガニスタン国境再開の要求が受け入れられるまでは、子ども達にポリオ予防接種をさせない旨主張した
- 3日、KP州ラッキー・マルワット郡 Betanni で、ポリオ・チームを護衛していた警察官と武装集団との銃撃戦が発生し、武装集団戦闘員1名が死亡、警察官1名が負傷した。同地区では、1800人以上の警護が配置される厳重な警備の中で、5日間のポリオ撲滅キャンペーンが開始されていた。
- KP州ラッキー・マルワット郡 Vargari 地区で、身元不明の者達がポリオチームを襲撃し、警察官1名が銃弾を受けて負傷した。
- 3日、KP州北ワジリスタン部族郡 Shivah tehsil で、身元不明のオートバイ乗り達から銃撃を受け、警察官1名が死亡した。
- 3日、CTD 報道官は、パンジャーブ州全域で遂行された794件のIBOでテロリスト44名が逮捕され、うちTTP 戦闘員2名がラホールで逮捕された旨報告した。
- バロチスタン州チャマンで、アフ・パク国境管理厳格化に対して数か月間座り込みの抗議活動が行われている中、5日、地元当局がデモ隊のキャンプを撤去し、クエッタ・チャマン間の高速道路を開通させたことを受け、デモ隊が報復として行政官（DC）の事務所を襲撃し、7名が逮捕された。6日、デモ隊は、逮捕者の即時釈放を求めて政府の建物や施設を攻撃し、治安当局者17名を含む少なくとも40名が負傷した。
- 5日、KP州バジョール部族郡 Mamond tehsil の Loy Kharki 地区で、身元不明のテロリストが道路脇に仕掛けたIEDが爆発し、兄弟とみられる子供1名が死亡、1名が重傷を負った。
- 5日、KP州バジョール部族郡で身元不明の武装集団が発砲し、警察官1名が殉職した。
- 5日、KP州北ワジリスタン部族郡 Mir Ali tehsil の Hyder Khel 地区で、身元不明のテロリストが携行式ロケット弾（RPG：rocket-propelled grenade）で車両を攻撃し、車両が炎上した。車両には政府寄り民兵司令官を含む3名が乗っており、2名は火災で死亡、1名は拉致された後 Mullagan 村付近で遺体で見つかった。
- 6日夜、KP州ラッキー・マルワット郡 Gandi Khankhel 地区で、CTD 職員1名が武装したオートバイ乗り達から襲撃され、殉職したほか、同州バンヌー郡 Talgai 地区で、CTD は IBO で武装組織の司令官1名を殺害した。

- 8日、CTDはパンジャーブ州内の様々な地域で遂行された180件のIBOで、活動禁止団体に所属する15名のテロリスト容疑者を逮捕し、181名を尋問した旨主張した。
- 8日、パンジャーブ州マンディ・バハウッディーン (Mandi Bahauddin) 郡 Phalia tehsil で、アフマディーヤ・コミュニティに属する男性2名が、19歳の宗教神学校学生によって射殺された。
- 8日、警察は地方行政当局の協力を得て、数日前にバロチスタン州カラート (Kalat) 郡 Nichari 地区で武装集団により身代金目的で誘拐された労働者5名を救出した。
- 8日、KP州クラム部族郡で、身元不明のテロリストが治安部隊の検問所を攻撃し、軍関係者7名が負傷したほか、同州デラ・イスマイル・カーン郡 Kulachi tehsil で、捜索活動中の警察隊がテロリストにIEDで攻撃され、警察官2名が軽傷を負った。
- 8日深夜、KP州バジヨール部族郡 Khar tehsil で、身元不明の武装集団が Miangano 警察署を襲撃したが、警察官によって撃退された。
- 9日、KP州ラッキー・マルワット郡で、治安当局者の車両がIEDの標的となり、陸軍大尉を含む少なくとも7名が殉職した。
- 9日、CTDはポリオ・チームに対する攻撃に関する報告書を発表し、今年KP州で合計15件の攻撃が記録され、ポリオ・キャンペーンの最中に警備に当たっていた警察官13名が殉職、36名が負傷した旨明らかにした。
- 10日、シンド州カラチ市の Kemari 警察は、身代金目的の誘拐に関与した活動禁止団体に所属する首謀者のテロリスト容疑者1名を遭遇戦で殺害した。
- 10日、CTDは今年上半期の報告書を発表し、この半年間でKP州の26郡で発生したテロ事件237件において、テロリスト117名を殺害し、299名を逮捕した旨明らかにした。また、同州での対テロ作戦で警察官65名が殉職し、86名が負傷した。
- 11日深夜、バロチスタン州クエッタ・チャマン間高速道路の Kuchlak 付近で、IEDの爆発によりFC3名が負傷した。
- 11日、軍統合広報局 (ISPR) は、パキスタン軍は、9日にKP州ラッキー・マルワット郡で治安当局者7名が殉職した襲撃事件に関与したテロリスト11名を殺害した旨述べた。
- 近年パキスタン軍はテロ対策で大きな成功を収めている。今年4月1日から6月10日までの間、治安部隊はKP州、バロチスタン州、及びシンド州で約7,745件の作戦を遂行し、テロリスト181名を殺害した。KP州では2,701件の作戦が遂行され、テロリスト128名を殺害、バロチスタン州では4,902件の作戦が遂行され、テロリスト51名を殺害、シンド州では142件の作戦が遂行され、

テロリスト2名を殺害した。

○ 13日、バロチスタン州クエッタ市 Nawan Killi 地区で、警察官がオートバイに乗った身元不明の武装集団により射殺された。身元不明の武装集団による警察官の殺害は今年3件目である。

○ 管理ライン (LoC) 付近のカルギルに隣接するギルギット・バルチスタン (GB) 地域 Kharmang 郡 Harghosal 村で、玩具に似せた爆弾が爆発し、14歳の少年が死亡、父親と妹が負傷した。地元住民によれば、1999年のカルギル戦争でインド軍が Kharmang 郡に大量の玩具に似せた爆弾を投下したため、このような事件が多発している。

○ 13日、KP州南ワジリスタン部族郡 Wana で、JUI-Fの同郡支部長を務める Maulana Mirza Jan が乗った車両が身元不明のテロリストにより攻撃され、同支部長が重傷を負った。

○ 14日、バロチスタン州ジョーブ郡から KP州デラ・イスマイル・カーン郡を結ぶ高速道路の Sheikmela 地区付近で、武装集団がクエッタ行きのバスに対して発砲し、乗客5名が負傷した。

○ 14日、KP州ペシャワール市郊外 Badbir 地区で、逮捕されていたテロリストが提供した情報に基づき作戦を展開していた CTD が TTP に所属するテロリストと交戦したが、その最中に逮捕されていたテロリストは警察に拘束されているときに仲間に殺害された。

○ 15日、バロチスタン州チャマンで、FC 隊員6名が自家用車で Roghani 地区から FC 本部へ移動していたところ、オートバイに乗った武装集団が自動小銃で車両を発砲し、FC 隊員3名が負傷した。

○ 15日夜、KP州ペシャワール市 Gulbahar 地区で、警察の市内パトロール隊員1名が、帰宅中に身元不明の何者かに発砲され、殉職した。

○ 16日、KP州クラム部族郡 Korram 道路付近の Tindo 地区で、身元不明のテロリストにより仕掛けられた IED が爆発し、乗用車で移動していた5名が死亡、1名が負傷した。また、同日、同部族郡 Satain 地区で、身元不明の武装集団が兄弟2名を殺害したほか、同部族郡 Sangroba 地区で身元不明の人物が駐屯地に発砲し、FC 隊員3名が負傷した。

○ 16日、KP州ハンゲー郡 Umerabad 地区で、オートバイ乗り2名が車両に発砲し、巡回中のハンゲー市警察署長 (SHO) 及び巡査のほか、通行人が負傷した。警察官が応戦したところ、襲撃犯1名も負傷した。

○ 16日、KP州ハイバル部族郡で、治安部隊は IB0 を遂行し、テロリスト5名を殺害した。

- 18日夕方、KP州ハイバル部族郡 Landi Kotal tehsil で、身元不明の武装集団によりベテラン・ジャーナリストの Khalil Jibran が殺害された。
- 19日、KP州南ワジリスタン部族郡 Sarrey Khowrey 地区で、JUI-Fの指導者である Maulana Din Saeed Wazir Gangikhel が、身元不明の武装集団により銃撃され死亡した。
- 20日、暴徒が、KP州スワート郡 Madyan 警察署内でコーラン冒流の疑いで拘束されていた男性をリンチし、その後男性の遺体、警察署及び警察車両に放火した。地元民によると、暴徒はモスクのアナウンスに応じて警察署に集結し、男性の身柄の引き渡しを要求し、警察が拒否したため犯行に至った。スワート郡警察長（DPO）によれば、この事件で8名が負傷した。
- 20日、バロチスタン州クエッタ市郊外のピクニック・ポイントである Shaban で、税関職員を含む少なくとも10名が身元不明の武装集団により誘拐された。10名はパンジャブ州出身者であるとみられる。本件につき、バローチ解放軍（BLA）が犯行声明を出した。
- 20日、KP州コハート郡とハングー郡を結ぶ道路上の Parchao Banda 付近で、身元不明のテロリストがクラム部族郡へ向かう旅客バスに発砲し、2名が死亡、3名が重傷を負った。
- ISPRによれば、21日、KP州クラム部族郡 Teendo area 地区で、IEDの爆発により、治安部隊5名が殉職した。
- KP州ローワー・ディール郡で、警察とFCが合同捜査・攻撃作戦を遂行していたところ、テロリストとの遭遇戦が発生し、FC隊員2名が殉職、警察官3名が負傷した。
- パンジャブ州警察CTDは、様々な地域で152件のIBOを遂行し、152名の取調べを行い、うち活動禁止団体との関係が疑われる22名を、武器や爆発者等を所持していたとして逮捕した。
- 22日にKP州ラッキー・マルワット郡 Marmandi Azeem 地区でTTPの戦闘員4名により誘拐された男性の遺体が、翌日 Nar Mohammad Ghaznikhel 地区付近で発見された。
- 23日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡でTTP戦闘員とみられる者達が獣医を拉致し、身代金8000万ルピーを要求した。24日、家族は獣医が帰宅した旨報告した。家族によれば、身代金は支払わなかった。TTPは、政府のスパイであるとして獣医を誘拐したが無実であることが判明したため解放したほか、本件は身代金目的の誘拐ではない旨声明で述べた。
- 24日、KP州北ワジリスタン部族郡 Mirali town 近郊の Khaisore Road で、身元不明の襲撃者が走行中の治安部隊の車列に手榴弾2発を投げ込み、治安部隊の車両及び治安部隊の日用品を輸送する民間請負業者の車両に着弾、通行人

7名が負傷した。

○ 25日未明、バロチスタン州カラート (Kalat) 郡 Iskalku 地区で、約 50 名から成る武装集団が、パキスタン石油公社 (PPL: Pakistan Petroleum Limited) の石油・ガス探査現場を警備していた駐屯地を銃撃し、FC 隊員 2 名が殉職した。

○ 25 日夜、バロチスタン州クエッタ市 Killi Ibrahimzai 地区 Brewery Road で、身元不明のオートバイ乗りが、パトロール中の FC 隊員を乗せた車両に手榴弾を投げつけたが、手榴弾は車両に命中せずに爆発し、通行人 7 名が負傷した。

○ 26 日、KP 州スワート郡警察長 (DPO) は、同郡 Madyan で発生した暴徒によるリンチ事件に関し、これまで主犯 3 名を含む 30 人が逮捕された旨述べた。

○ 26 日、KP 州バンヌー郡 Pir Dil Khel 地区で、CTD の巡査 1 名が身元不明の武装集団に発砲され、殉職した。

○ 28 日、KP 州タンク郡 Tator 地区で送電線を修理していた 13 名の労働者が身元不明の武装集団に拉致された。労働者は全員パンジャーブ州出身であり、うち 9 名が警察によって救出されたが、残り 4 は行方不明であり、捜査が続けられている。

○ 27 日夜、KP 州ペシャワール市 Regi Model Town の Warsak 地区にある警察署に向けて武装勢力がロケット弾を発射し、壁の一部が破損した。

○ 28 日、シンド州 Ghotki 郡 Mirpur Mathelo taluka にある Aandal Sundrani 警察署の Mubarak Lakhani 検問所を武装強盗団 (ダコイト) が襲撃し、巡査 1 名が殉職、警察官 1 名が負傷したほか、もう 1 名が誘拐され、すべての武器を奪われた。

○ 29 日、KP 州タンク郡で、平和委員会 (Aman Committee) の元メンバーの息子が身元不明のテロリストにより銃撃され、死亡した。

○ アーザード・ジャンムー・カシミール州の Rawalakot 刑務所から、死刑囚 6 名を含む受刑者 19 名が脱獄した。また、脱獄中に負傷した受刑者 1 名が死亡した。

○ 30 日、KP 州北ワジリスタン部族郡 Eidak 地区で、CTD 巡査が帰宅中に標的攻撃に遭い殉職した。

○ 30 日、KP 州クラム部族郡 Ghazgarhi と Maqbal の境界地区で結婚式が行われた際、手榴弾が爆発し、少なくとも 19 名が負傷した。

○ 30 日、KP 州北ワジリスタン部族郡 Razmak Tehsil の Aziz Khel 地区で IBO が遂行され、最重要指名手配中のテロリスト 2 名が殺害された。

(以上)